いいじまち 議会だより

迎春

休日議会
3/17 PM2:00
開催決定!!

第84号 平成31年1月15日
発行：長野県飯島町議会

写真／小林紀一氏

P3 議会モニターのひとこと
議会のハテナ?
議会運営委員会の仕事は?
あれどうなった

P4 住民懇談会　井戸端会議
どうする
10年後の自治会運営

P5 12月定例会
補正予算審議
小中学校への
エアコン設置

P6 総務産業分科会
補正予算審査
公共施設老朽化　抜本対策を

P7 総務産業委員会
陳情審査

P8 社会文教分科会
補正予算審査
モミの枯木どうなる?

P9 社会文教委員会
請願・陳情審査

P10 予算特別委員会
学校エアコン設置
給食センターは先送り

P11 本会議・表決結果

P12 いいちゃんまちづくり連絡協議会との懇談会
中部伊那町村議員研修

P13 教育委員との懇談会
民生児童委員との懇談会

P24 町民の声を議会へ
「あんどん市」最終回

町政を問う

ここが聞きたい

10議員が質問

久保島　巖　飯島飯（いいじまめし）
庁内プロジェクトに …… P14

橋場 みどり　電子母子手帳
導入を …… P15

滝本登喜子　町の高齢化
高齢者活躍の取り組みを … P16

中村　明美　飯島駅の発券
委託事業の一区切りを …… P17

竹沢　秀幸　町長就任3年間
総括と課題は …… P18

折山　誠　旧紅葉園
どう活用する …… P19

坂本　紀子　学校教育
過密教育にならないか … P20

浜田　稔　基金積立
貯め込みすぎでは …… P21

三浦寿美子　介護療養病床
大幅削減で不安だが! …… P22

本多　昇　国民健康保険
算定基準見直しを …… P23

「一般質問」とは
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

いいじまま
議会だよりモニター のひとこと

83号の広報紙面に対するご意見

表　紙

・収穫作業の動きが感じられて良い。
・季節にふさわしくとてもきれい。
・裏表紙の「居場所」の看板をいつも不思議に思っていたが、謎が解けた。
・実りの秋の表現が喜ばしい。
・秋の収穫の様子が伝わり、トンボ・クリなどがアクセントになり良い。
・アサギマダラやミヤマシジミなど、町の話題性のある題材も取り上げて。

記　事

・目次にグラフと写真が入り、工夫されている。
・各見出しが大きくはっきりしていて良い。
・質問と答えがわかりやすい。
・文章の重要性に応じて、写真が大小されて良い。
・文章が固くなりすぎないように工夫されている。
・全体として分かりやすく工夫されており、読みやすい。
・モニターになり、紙面に目を通すようになった。町政など勉強になる。
・視察研修の写真はもう少しインパクトのあるものを。平凡。
・一般質問の各議員の顔写真は親近感があって良い。
・H29年度決算審議の文章は難しいが、グラフで理解できる。
・財政４指標の将来負担比率が気になった。
・文章の文字サイズが見やすい。これを定番に。
・写真のサイズ、数的にも良好。
・紙面構成として、１件の大判より幅広いスナップが良い。
・議会だよりから、町民の日頃の町政参加意識の思いを…。
・83号は、決算審議など盛りだくさん。町広報とあわせ知ることができた。
・総務や社文の委員会仕事を少し理解できた。

その他のご意見・感想

・町の財政状況、将来の負担を大心配。
・水道料金が高額でも、安全安心な水の提供を。
・森林整備の長期を展望する町長の姿勢を評価。竹の活用も重要。
・防災は、減災や防犯をセットで考えたほうが良い。
・被災地へのボランティア派遣は、災害時のボランティア受け入れのノウハウにつながる。
・米俵マラソンのイベントを育て、大相撲土俵の町を発信しては。
・ごみのリサイクルに努めた人が得をするシステムを。

など、多くの政策提言がありました。すべてを町に伝えました。

議会のハテナ？

議会運営委員会の仕事は？

町議会運営委員会は、議会を円滑に運営するために、５人の委員で構成し設置されています。

議会運営委員会では、主に年４回開催される定例会の開催日程の調整、本会議の進行の確認などを行います。

また、本年度は住民懇談会のあり方や夜間休日議会の開催など、議長から諮問された事項を協議検討しています。

追跡 あれどうなった

一般質問・審査での意見
請願陳情 その後のゆくえ

30年９月議会　定例会　一般質問

問 税収の補正は決算時ではなく、当年度財源として活用できるよう、早い時期に。

答 努力する。

その後

平成30年度は、12月の定例会で増額補正された。

住民懇談会

井戸端会議

10/12

どうする10年後の自治会運営

人口減少と高齢化を心配する声多数

北河原集会所・新田集会所　昼の部・夜の部　延べ19名出席

〈 出席者の声 〉

1．区・自治会・公民館などの運営課題

①加入者などの負担

区費・自治会費など、負担金額の過多を指摘する意見が多数出されました。

②組織課題

・区・自治会・公民館などの役員負担が大きい。見直しが必要。

・自治会・隣組のあり方など、見直しや再編を求める。

・行政と協力し、コンパクトな自治会運営改革を求める。

③人口減少・高齢化対策

・10年後の自治会を見据え、検討委員会を設け、今から備えることが必要。

・１人暮らしの支援、災害時の救援体制のため自治会の強化必要。

いつまで！危険な急傾斜地の草刈り！

・除雪・道路河川法面の草刈りが高齢化に伴い大変。

・自分の自治会を分析したら高齢化率61％で、10年後は77％になる。

・高齢者は、ごみ出し場までの運搬が大変。

④移住者対応

・税外負担を減らし、移住者が加入しやすい自治会運営が大切。

・未加入者に対する行政による加入促進を求める。

雨の日　家まではまだ遠い

2．町の施策全般

①防災

・百間なぎの崩落が進み、台風で水路から越水があった。土砂対策が必要。

・土石流のハザードマップ制作など、皆で議論していくべき。

②産業振興

・荒廃地を有効利用し、企業誘致を。また、荒廃地を町が集積し、貸し付けるシステムを。

③観光

・千人塚の開発は一体的に。

・坊主平のもみじは色づかない。（朝霧による）

・都会の隠れ家的に。少数でも心からのファンに訪れてほしい。

・ものまねではなく、田舎を生かしていくことが大切。

④人口対策

・今から対応を考えないと。

⑤箱もの政策

・物を作りっぱなし、その後どうするかが考えられていない。

・箱モノを作るより心を大切に。

⑥その他

子育て支援・教育・観光・コンパクトシティー・リニア開通を見据えたまちづくりなど、多数の意見が出されました。

出された意見は、重要課題として町に提言しました。

12月定例会　補正予算審議

小中学校へのエアコン設置　全速力で進める

12月定例会は12月7日から18日までの12日間開催されました。人事案件1件、条例案件4件と平成30年度補正予算案14件が上程されました。補正予算は予算特別委員会を設置し審査を付託しました。請願・陳情案件7件は各常任委員会に審査を付託しました。審査内容と議決結果はP6～P11をご覧下さい。

人事案件

○教育委員任命（再任1名）

○手数料徴収条例一部改正
戸籍謄抄本のコンビニ交付に伴う改正

○国保条例の一部改正
町の国保運営協議会に被用者保険者等（社保加入者など）代表を加える

補正予算

◇一般会計（補正３号）
２億1958万円増額し、総額51億4709万円に

主な財源

- 町債　1億 430万円
- 国庫支出金　6169万円
- 町税　1710万円

主な支出

- 小中学校エアコン　1億6834万円
- 障がい者自立支援事業　1455万円
- ふるさと納税基金積立　1583万円
- 石楠花苑の照明LED化　415万円
- 飯小老朽木伐採　172万円
- 給食センター基本設計　△230万円

◇国保特別会計（補正２号）
1億1810万円減額し、総額9億6852万円に

◇後期高齢者医療特別会計（補正２号）
238万円減額し、総額1億4584万円に

◇介護保険特別会計（補正２号）
14万円減額し、総額11億1452万円に

◇公共下水道特別会計（補正2号）
増減無し　委託料へ予備費充当

◇農業集落排水特別会計（補正2号）
137万円増額し、総額2億4606万円に

◇水道事業会計（補正1号）
697万円増額し、総額４億6149万円に

人事院勧告に伴う議案

○条例改正
- 町特別職給与条例の一部改正
- 町一般職給与条例の一部改正

○補正予算（給与等増額改定分）
- 全会計で505万円増

猛暑を迎え撃つ

教室に設置されたエアコン（イメージ図）

総務産業分科会

補正予算審査

公共施設老朽化による修繕費増！ 抜本的対策を

平成30年度一般会計補正予算（第3号）付託分と3特別会計の補正予算を審査しました。

一般会計

主な質疑

問　ふるさと納税システムが減額となっているが理由は。
答　昨年は、件数・金額が多く管理が難しかったので今年度は外注する計画だった。しかし、件数・金額が半減したため部内管理とした。

問　官公造林の買取りの理由と場所は。
答　平成31年3月末満期の、国が管理していた町有林の買い戻し分。
　場所はシオジ平手前の地獄谷の急斜面。

問　陣馬住宅の修理が増えている。空き室も多く根本的対策を。
答　昭和50年代建設で入居率50％。次年度長寿命化計画をたてる時点で検討する。

問　地域おこし協力隊の活動費組み換えが多い。事業内だが当初に分からなかったのか。
答　入札差金や中途採用で、事業が明確でなかった部分がある。活動費内でやりくりしている。

問　庁舎管理費の詳細は。
答　給湯器の修理・自家発電の電池交換・雨漏り・東駐車場の照明器具交換代。

問　インターネット手数料が60万円増えている。詳細は。
答　楽天サイトの売上げが400万円増えたため。

問　協働のまちづくり推進補助金の状況は。
答　今年度新規４件と継続６件で消化した。１件分追加し今後に備えたい。

公共下水道事業特別会計

質疑なし

農業集落排水事業特別会計

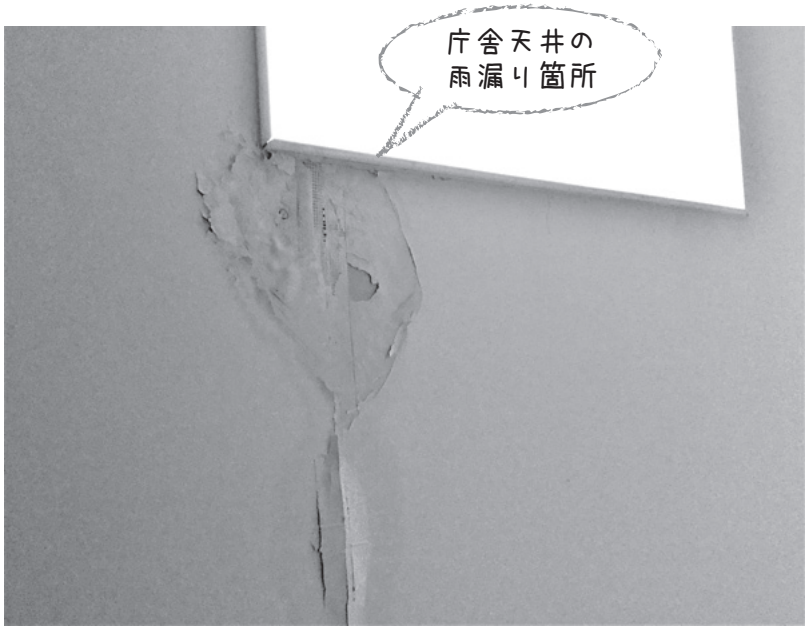
問　修理費の詳細と、公共ます分担金増額の理由は。
答　田切農集排の流量計の不具合による交換費。分担金は田切・本郷とも加入が見込まれるための増額。

水道事業特別会計

問　浄水費の増額理由は。
答　浄水場の攪拌機の補修に100万円。浄化薬剤も不足になった。

問　老朽化による修繕か、今後も修理で対応するのか。
答　昭和50年代のもので寿命がきている。今後、施設の耐震診断も実施するので、その結果により対応する。

問　水濁りの原因は。薬剤の他に浄化方法はないか。
答　与田切川からの取水で台風など大雨の際にはどうしても濁る。濁った時はタンクの水を優先して使うが限界があり、薬剤処理が必要になる。



老朽化が進む公共施設

陳情審査

9月定例会で継続審査となった陳情1件と、12月定例会で付託された陳情2件を審査しました。

不採択

◇竜東線（主要地方道伊那生田飯田線）の整備促進並びに、飯島町側からの早期工事着手について

提出者：飯島４区会長
土村 芳彦 氏

◆**内容**　天竜川左岸唯一の幹線道路である竜東線の飯島町側からの早期着手を。

賛成０　反対５

｜討｜論｜

反対

工事に支障があることは認識しているが、その打開に中川村を始め、関係者が努力している。「飯島町側から着手すべき」との陳情は、期成同盟会の合意事項に反する。

状況を注視し、協力体制を維持することが良い。

不採択

◇米軍基地の負担軽減として、沖縄に寄り添い辺野古新基地建設中止の意見書提出を求める

提出者：「平和って何だ・伊那谷」
角（すみ） 憲和（のりかず） 氏

◆**内容**　辺野古新基地建設中止の意見書提出を求める

賛成２　反対３

問　行政不服審査法*の背景はどうか。

答　背景は分からないが、防衛省が国交省に不服申し立てをすることは不適当だ。

*不当な処分を受けた国民の権利救済と行政の円滑な運営に関する法律

問　辺野古をやめるなら、何処に新設するのか。

答　この陳情は辺野古はやめてくれと言っている。基地そのものを否定している訳ではない。

｜討｜論｜

賛成

・先の知事選挙での沖縄の民意を尊重すべきだ。国から地方自治体への強制があってはならない。

反対

・辺野古への移設は既に決まっていた事。普天間基地を返還する期限も迫っているなかで、今更変更はできない。沖縄は代替案を提示するべきだ。

不採択

◇国に対し、増税中止の意見書提出を求める

提出者：上伊那民主商工会会長
鈴木 正巳 氏

◆**内容**　消費税10％への増税中止の意見書提出を求める

賛成２　反対３

問　税額確定申告には新たなシステム導入など、経費が必要になるのか。

答　軽減税率により、複数税率になり混乱を招く。例えば食堂で食べたら10％で出前は８％など極めて複雑になる。また、キャッシュレス決済にも新たな経費が生じる。

問　インボイス*で1000万円未満の非課税業者が無くなるという解釈か。

答　無くならないが、大企業との取引にインボイスを求められる。そうなると大企業との取引が出来なくなって、非課税業者に影響が出る。

*商品ごとの税率・税額を明確にした請求書のこと

｜討｜論｜

賛成

・消費税は逆累進課税となり、収入が少ない人ほど影響が大きい。

・過去の増税の歴史を振り返ると、結果的に景気が低迷し税収は増えていない。

反対

・来年度10％になることは法律で決まっている。カード決済に対応できるよう設備投資補助制度もある。

社会文教分科会

学校エアコンの概要固まる

平成30年度一般会計補正予算（第3号）の付託分・国民健康保険特別会計補正予算（第2号）・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）・介護保険特別会計補正予算（第2号）を審査しました。

主な質疑

一般会計

問　小中学校のエアコンは、冷暖房とも必要なのでは。
答　国の要綱に基づいて進める。新技術を導入し、一番適したものにしたい。寒い飯島で暖房に使うと大型の物が必要になり、電気代・ランニングコストなど考えると冷房を優先。
　今は中部電力との契約だが、今後は新電力も検討。普通教室に付ける。

問　築年数が経っている校舎で大丈夫か。
答　天井から吊る設置にし、構造に合ったものにする。

問　追加工事が出た場合は、補正をかけるのか。
答　まだ未設計なので、工事費は概算だ。実施設計により、補正もありうる。

問　工事の日程は。
答　6月中の完成を目指したい。クラスごと工事をし、授業に影響が出ないようにする。

問　全国的な発注が重なると、応札がゼロになる場合もあるのでは。
答　県は今から業界に要望している。早く工事発注が出来るようにしたい。

問　この事業は繰越事業になる可能性があるが。
答　繰越事業になる。

問　多額の費用だが、国の交付金1/3の見通しは。
答　まだわからない。1/3と計算しているが、乖離があるなら途中で臨時議会の可能性もある。

問　歳入の固定資産税1500万円の内容は。
答　メガソーラーの建設で償却資産が増えた。

問　障がい者自立支援事業は、毎年度補正で1000～2000万円増えるが、人数・実態は。
答　サービスを受けている者は80人・子どもで20人前後。増えた要因は、施設入所が2人・グループホームが3人増えた。生活介護・就労・家賃補助などが加わり1人当たり1カ月、25～50万円ほど。

問　必要な費用は当初予算に計上すべきでは。
答　所管課ではきちんと見積額を出しているが、予算査定で落とされている。
　ここ数年、決算額は見積りどおりである。
意見　必要なものは当初予算に計上することが、正しい予算の組み方では。

問　石楠花苑の照明器具改修工事の内容は。
答　全館LED化し電気代を軽減したい。起債措置など、国の支援がありそうなので町でやる。

問　飯島小学校の老朽危険木の伐採費用が高額すぎないか。
答　樹木医の診断で、枯れていることが判明した。
　東門にある樹高30mのモミとヤナギの大木の２本を伐採。

問　経費の内訳は。
答　クレーンを使い、玉切りにする特殊伐採のため。

問　古木なので、販売など後利用のアイデアは。
答　枯損木のため販売できない。来年飯島小が150周年記念なので、モミの木を活用して記念品を作る計画。予算は、ＰＴＡ会費か学校予算。

他の補正予算は質疑なし。

記念品になるモミの木

請願・陳情審査

採　択

◇医療・介護の夜勤交代制労働の改善を求める
提出者：県医療労連
執行委員長　小林 吟子（ぎんこ） 氏

賛成５　反対０

◆**内容**　国の責任で医療・介護現場で働く夜勤交代制労働者の処遇改善・増員を求める

質疑

問　不払い・高度化の内容は。
答　準備のための仕事が勤務時間外。看護師は高度化で、卒業後一年かかり一人前になる。

討論

賛成
・国会で採択されたが、実現できていない。人手不足のまま。
・夜間、看護師が1人であり不安を感じる。改善が必要。

採　択

◇灯油高騰および生活困窮に対する「福祉灯油」実施を求める
提出者：SOSネットワーク上伊那
代表　野口 正泰（まさやす） 氏

賛成５　反対０

◆**内容**　生活困窮世帯の現状を踏まえ、制度の復活を求める

討論

賛成
・灯油代が高くなると高齢者は寒くても我慢する。他市町村同様に当町も支援を。
・生活保護費は多くの人が減らされているので実現してほしい。

採　択

◇性的少数者の人権保護と認知教育の充実の請願
提出者：Rainbow Fellows長野
上伊那支部　高嶋 一郎 氏

賛成５　反対０

◆**内容**　差別なく暮らせる制度の実現とLGBT教育の充実を

質疑

問　相談窓口は自治体ごとか。
答　松本市では行政が。

問　隠すことで理解を遅らせているのでは。
答　服装は女性、ネームプレートは男性名と、一致しないことで、いろいろあり仕事が減る。

問　小中学校におけるLGBT教育の状況は。
答　授業や当事者が講議をするところもある。

問　社会の理解度は。
答　正しい認知がされていない。

問　同性パートナーシップ制度は法的に難しいが。
答　アパートの借用時・入院時など社会のサービスで差別されない理解ある対応を望む。

討論

賛成
・町にも相談窓口が必要。
・自分を隠さず生き生きと暮らせる世の中に。

採　択

◇上伊那の高校再編を早急に進めないように求める
提出者：高校再編を考える上伊那の会 代表　宮下 与兵衛 氏

賛成４　反対１

◆**内容**　住民に説明しながら進めていくように求める

質疑

問　結論に必要な期間は。
答　２年くらいかかると思う。

問　県議会への働きかけは。
答　承認が必要なので話す。

討論

賛成
・地域全体の問題。多くの意見を聞き進めるべき。

反対
・手順を踏むべきことはやっているので拙速ではない。

LGBTとは…性的少数者
L：女性同性愛者
G：男性同性愛者
B：両性愛者
T：身体と心が一致しない人

予算特別委員会

学校エアコン設置 給食センターは先送り

予算特別委員会は、総務産業･社会文教の2つの分科会を設けて各所管事務の審査を求め、分科会からの報告に基づいて理事者への総括質疑を行いました。
その結果、付託された予算7議案の全てを可決すべきものと決定しました。

総括質疑

◇歳入関連

問　固定資産税1500万円の増額補正理由は。
答　メガソーラー建設による償却資産の増加が大きい。

問　ふるさと納税が半減したが、今後の方針は。
答　税法改正の通知により返礼品を「物」から「事」へ。
　米俵マラソンなどへの見直しを検討中。
意見　管理システムの外注化を止めた判断は適切。

◇町施設の修繕など

問　陣馬住宅の今後の方針は。
答　入居率50％、次年度長寿命化計画をたてる時点で検討。
　県からの譲渡条件が外れる平成34年度以降は、いろいろな用途が考えられる。

問　庁舎修繕の中身は。
答　雨漏り・給湯器・自家発電の電池・駐車場照明。

問　飯島小の老朽危険木の伐採費用が高すぎないか。
答　高さ30mで特殊伐採が必要な木もある。

問　石楠花苑の照明器具改修工事の背景は。
答　電気料金削減のため、全館を町で実施。

◇住民福祉関連事業

問　福祉灯油と「ほっとシェアスポット」が盛り込まれていないが。
答　福祉灯油は以前実施したが、当時の価格に達したら検討する。シェアスポットは取り組みを進めている。

問　障害者自立支援事業は、毎年1000万円から2000万円の補正が行われる理由は。
答　過去の傾向などから適正に算出している。
意見　分科会で審査した内容からは、予算査定で減額されたと聞いた。扶助費など必要なものは当初予算に盛るべき。

◇小中学校のエアコン設置

　今回の一般会計補正の総額約2億2000万円の8割近くを占める事業。多くの質疑がなされたので、明らかになった点を列挙

問　見積・予算・入札関連
- 業者情報により概算した。
- 国の交付金1/3補助を見込むが乖離があれば追加補正もありうる。
- これからの発注なので来年度への繰越になるだろう。
- 全国的事業で他市町村とも重なり、入札にも懸念がある。

問　工事内容
- 国の要綱が来ていないが、確認して普通教室から設置していく。
- コストと町の気候条件から、暖房より冷房中心の運用となる。
- 校舎の構造から天吊り型。

　エアコン設置事業そのものに対して否定的な意見は無かった。
　ただし、給食センター設計事業が削減されたことに異議があった。

問　エアコン事業のために先送りしたのなら認められない。
町長　先送りは多機能型給食センターを研究するため。両事業が担当者に重なると荷が重い。

討論

一般会計補正予算（第3号）

賛成
　町税の早い補正と、少額ではあるが繰り上げ償還ができたことを評価する。

水道事業会計補正予算（第1号）

賛成
　浄水場の老朽化による故障に、適切な保全がおこなわれたことを評価する。

　他の5予算案への討論はありませんでした。

本会議表決結果

※議案の採決は、堀内議長を除く11人で行います。

議　案　名	内　容	賛成	反対	審議結果
教育委員の任命	任期満了に伴い、1名の再任	11	0	原案可決
手数料徴収条例の一部改正		11	0	原案可決
国民健康保険条例の一部改正		11	0	原案可決

平成30年度補正予算・条例改正

一般会計（第3号）	P5, P6, P8, P10参照	11	0	原案可決
国民健康保険特別会計（第2号）	P5, P8, P10参照	11	0	原案可決
後期高齢者医療特別会計（第2号）	P5, P8, P10参照	11	0	原案可決
介護保険特別会計（第2号）	P5, P8, P10参照	11	0	原案可決
公共下水道特別会計（第2号）	P5, P6, P10参照	11	0	原案可決
農業集落排水事業特別会計（第2号）	P5, P6, P10参照	11	0	原案可決
水道事業会計（第1号）	P5, P6, P10参照	11	0	原案可決
特別職給与条例の一部改正		11	0	原案可決
一般職給与条例の一部改正		11	0	原案可決

平成30年度補正予算（追加上程分）

一般会計（第4号）	P10参照	11	0	原案可決
国民健康保険特別会計（第3号）	P10参照	11	0	原案可決
後期高齢者医療特別会計（第3号）	P10参照	11	0	原案可決
介護保険特別会計（第3号）	P10参照	11	0	原案可決
公共下水道事業特別会計（第3号）	P10参照	11	0	原案可決
農業集落排水事業特別会計（第3号）	P10参照	11	0	原案可決
水道事業会計（第2号）	P10参照	11	0	原案可決

○は賛成　●は反対

議　案　名 ※議案の採決は、議長を除く11人で行います。	本多昇	滝本登喜子	久保島巌	好村拓洋	橋場みどり	浜田稔	竹沢秀幸	折山誠	坂本紀子	三浦寿美子	中村明美	審議結果
請願												
性的少数者の人権保護と認知教育の充実	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採　択
上伊那の高校再編を早急に進めないように求める	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	採　択
陳情												
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採　択
沖縄に寄り添う米軍基地の負担軽減は、辺野古新基地建設の中止の意見書の提出を求める	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○	●	不採択
国に対し、消費税率10%への増税中止の意見書を提出することを求める	●	●	●	○	●	○	●	●	○	○	●	不採択
灯油高騰および生活困窮に対する「福祉灯油」実施を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採　択
竜東線の整備促進並びに、飯島町側からの早期工事着手を求める	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
議員提出意見書												
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	意見書提出
上伊那の高校再編を早急に進めないように求める	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	意見書提出

より良い町にするには
「いいちゃんまちづくり連絡協議会」との懇談会

恒例となっている懇談会が、10月3日にコスモス園で開かれました。
多くの課題や提案が発表され、内容を項目毎にまとめて記します。

高齢者のために

・JRの駅ホームに、高齢者に配慮したベンチを。
・福祉タクシー券の利用方法の周知を。
・いいちゃんバスはありがたいが、バス停まで行くのが大変。
・移動販売車の充実を。

子育て支援

・通学にもいいちゃんバスの柔軟な活用を。
・学校へエアコン設置を。
・地区にひとつくらい公園を。
・七小の調理実習室前の雨漏り修繕を。
・飯島町は南箕輪より子育て支援が進んでいるが、イメージが伝えられていない。
・給食センターの老朽化対策を。

過疎に対して

・町内商店の後継者不足が課題。
・大学へ進学し、自分に合った職が無くて地元に帰ってこない。若い人が住める土台作りが必要。
・伊那・飯田が通勤圏内にあるのは魅力。
・荒れ地・空き家は、町と地域住民が力を合わせ対策。
・農地の有効活用を。

防災・減災

・地震だけでなく台風や豪雨への訓練も重視すべきだ。
・防災士資格の助成金がある。多くの防災士が必要だ。
・昼間、自治会役員が不在の時の防災組織を置くと良い。
・ブロック塀の調査と対策を。

まちづくりと町への要望など

・お陣屋あんどん市が無くなるが、若い人を巻き込んで替わりの何かを！
・千人塚の施設の活用で、人を呼べるように。
・町民のためにちゃんとお金を使ってほしい。財政調整基金があり弾力的に活用を。
・駅前の駐車場を活用し、公園にしては。
・町の広報に行事は載っているが、情報発信に工夫を。

「いいちゃんまちづくり連絡協議会」とは

女性団体など9団体と数十人の個人からなる組織です。

男女共同参画社会の実現に向けて、会員の資質の向上と相互の協力により、住みよい町づくりを目指し活動しています。

視察研修

中部伊那町村議会議員研修会　11/6

毎年開催されているこの研修会が理事者出席のもと、大鹿村で開催されました。
今年は4町村（大鹿・中川・松川・飯島）から10の議題が提出され、研究討議の結果全て採択されました。

当町からは2つの議案を提出しました。

・国道153号飯島町本郷以南建設改良促進について　竹沢 秀幸 議員
・中央アルプス国定公園化と県道千人塚公園線の改良促進について　好村 拓洋 議員

今後は提言書としてまとめ、正副議長により県へ要望活動を行う予定です。
研修会終了後、リニア中央新幹線の大鹿村「小渋非常口」工事現場視察を行いました。

民生児童委員・教育委員と初の懇談会開催

民生委員と社会文教委員会の懇談会　10/19

次のことを目的に懇談を行いました。活動報告から、福祉のあり方を学び考え、地域で暮らし続けるために、必要な政策を出し合いました。出された課題や提案は、下記のとおりでした。

交通弱者対策

●循環バス
・利用が少なく、すべて福祉タクシーにしたらどうか。
・小中学生の通学を含め、だれでも乗れるようにしたら。
・高齢者は、オンデマンド方式の予約が苦手。改善を。
・免許証返納への対応を。

●福祉タクシー
・二人が券を出し合って乗るなど、使い方の詳細な説明が必要。
・若い世代との同居に係わらず、年代を定めて全員に交付を。
・現行の65歳を引き上げて、交付枚数を多くすることが良い。
・街中と、周辺部との交付数は外部に厚く差をつけてはどうか。
・本郷では、受診・買い物など乗り合わせで利用している。

行政に求める

●情報
・行政からの㊙情報や福祉台帳などを行政・自治会長と共有し、活動に利用したい。

●交流の場確保
・各集会施設を集いの場に。
・駒ケ根市のような、あか抜けた集いの場を作ってほしい。

●環境
・庭木やゴミ屋敷の対策が必要。
・高齢者には、ごみ集積所が遠い。ゴミ出しを友人が手伝っている例がある。
行政対応を。

●災害対応
・災害種別単位に対応できる訓練が必要では。

●嫁不足問題
・地域の深刻な問題。下条村の結婚祝い金制度など必要。

●こども食堂
・子ども食堂の設置を求める。

●自治会未加入者対応
・把握ができず、支障がある。情報を委員に提供されたい。

民生児童委員活動から

・性別での対応の難しさがある。男女ペアで訪問が望まれる。
・民生委員間交流も必要。
・なり手不足・任期・担当区域が広い。
・配り物の時を待っている高齢者がいる。話し相手が必要。
・いきいきサロンを立ち上げ、交流の場を設け、バス遠足などを実施。参加者の悩みや事情が把握でき、相談に乗れている。
・交流の場への男性や若者の参加が課題。
・委員が、いちいの会に参加することは活動に役立つ。町職員の参加も必要。
・20年前から、交流の場を設けている。集会所のカギを近くの個人宅に預け、使いやすくした。
・児童に関する問題を見逃さないように、保育園や学校と連携して対応している。

行政から民生児童委員に求める

・一人暮らしが増えている。台帳をつくりたいので協力を。

教育委員と社会文教委員会の懇談会　10/31

未来塾

平成28年から塾に行けない中学生25人ほどに、支援員（元教員）13人で未来塾（月・水・夏休み）を開いている。

特別講師に東大院生や駒工教員が加わる時もあり、生徒に好評とのことでした。

児童の減少　学童クラブの充実

・七久保小児童の減少で2025年に複式学級の可能性がある。
・女性の働く場所や賃金が定住の妨げになり、若い世代が減少。
・学童クラブの場所が手狭。
・総合学習が活発で良い。

その他春の運動会・スマホなどの問題を共有し、意見交換が出来ました。

久保島　巖

飯島飯（いいじまめし）

庁内プロジェクトに

住民の熱意が基本　町長

問　越百黄金や飯島産米のブランド化が必要だ。定義と販売ターゲットは。

町長　越百黄金は県の栽培基準から、農薬と化学肥料を50％以上削減したもの。町民9500人の胃袋をみたすだけの量はある。町外には出さないという売り方もある。

問　米俵マラソンの知名度もあがり、大相撲の土俵俵（どひょうだわら）を作成する事にもつながった。この機会にワラを使った地域おこしを。

町長　事業の採算性、必要なワラの確保や職人の育成など課題も多い。米と結びつくストーリーに沿い、観光資源として磨き上げる支援も行いたい。

問　米やワラに関連した食品開発などができないか。

町長　土俵俵に使用する「白毛餅」は、味は良いが手間もかかりワラの収穫量も少ない。確保に努めたい。米やワラを使った加工品などで新たな産業創出も期待できる。

　そうした民間活力を力いっぱい支援していきたい。

問　米俵保存会では、海外からの米俵作りのツアーを受け入れている。農作業なども観光ツアーとして成り立つ。そば打ちや五平餅づくり、米粉パンなども商品化できるのでないか。

地域創造課長　ニーズを的確に捉え、地域資源の掘り起しを行い、旅行業者や伊南ＤＭＯと連携しながら体験メニューの商品化に取り組みたい。

米俵マラソン大会　俵富士

問　米やワラに関わる「飯島飯プロジェクト」は、地方創生推進交付金対象ではないか。庁内プロジェクトを立ち上げて取り組んではどうか。

地域創造課長　施策をパッケージ化し、提案できるように研究していきたい。

町長　まちづくりの有力な手法として、住民の湧き上がる熱意が基本だ。行政は制度面などで支援する。

SDGsの対応は

問　「飯島飯プロジェクト」は、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）のモデル事業に適合するのではないか。応募の考えは。

町長　農商工官学が連携して取り込むことで、ＳＤＧｓの理念が共有されている。合致するものを探し、対応していきたい。

問　バイオマス発電は地域資源活用などに有効である。これもＳＤＧｓの理念に沿っている。どう取り組むか。

町長　町も研究を進めており、ＳＤＧｓに沿った事業と考える。当町の範囲に留まらず、広域での理解・協力が必要だ。上伊那全体や力のある民間企業と話を進めている。

問　2019年は「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の目標年になる。国はＳＤＧｓを加味した再策定を求めると思うが対応は。

町長　ＳＤＧｓの世界基準に照らし合わせて、具体的施策に反映させていく。

〔以上２件質問〕

電子母子手帳 導入を 慎重に検討 町長

橋場 みどり

問　医療・介護・教育分野・防災分野にもＩＣＴ利活用は進んでいる。

妊娠届・妊産婦検診・不妊治療助成制度・予防接種のスケジュールなど、紙の母子手帳の補完サービスとして「電子母子手帳」の導入を提案するが。

町長　ＩＴ時代の流れではあるが、一人ひとりと顔を会わせた子育て支援サービスを大事にしたいと現場は感じている。

今後、子育て家庭にニーズ調査を行い、導入は慎重に検討する。

問　母子情報サービスには、マイナンバーカードの活用もある。本人確認ができ、パソコンとのデータ連携により、家族や遠方の祖父母との、情報共有機能などのサービス利用ができる。

カード発行率向上やコスト削減にもつながるが。

町長　パスワードなどで個人情報が守られ、利点はあると思う。

自由自在に使える時代を見据えた中で研究し、環境が整えばできるだけ早く対応したいと考えている。

自治会への加入促進を

問　現在、町の取り組みや状況はどうか。

地域創造課長　加入率は、人口ベースでは、ここ数年９割弱ぐらいで推移。窓口では転入時にチラシを渡す。各自治会長とも連絡・連携を取りながら進めている。

定住促進施策でも、補助金などを受ける際には必ず加入を交付要件にしている。

問　八戸市では、地域と市の協働による先進的な取り組みをしている。自治会は、必要性・メリットを理解してもらうため、各々の手法で働きかける。行政は、団体・企業・自治会と協働で取り組む。

加入促進のためには、このような取り組みが必要だと考えるが。

町長　自治会というのは、隅々まで届く住民生活の身近な組織だ。住民サービスを提供するうえで、そこをしっかりすることは非常に大事だ。

自治会・地域住民のコミュニティは、自分たちでつくっていくものなので、負の部分も考えながら、みんなで話し合うことが基本だ。

一生懸命対応していく。

ふる里愛には

問　子供のふる里愛を育むなど「キャリア教育」が始まっているが「キャリア教育」とは何か、また何を目指すのか。

教育長　キャリア教育は、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育てること。

そして、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく道筋を形成する教育だ。

問　起業家教育とは何か。キャリア教育との違いは。

教育長　起業をした人・自力で運営している人の話を聞き、生き方を参考にする勉強などをしている。

これは大きな意味でキャリア教育の一部と捉えている。

町長　キャリア教育の重要性は、地域の人が地域の子どもたちとフェイス・ツー・フェイスで話し、教えてあげる機会が多くあれば良いと思っている。

自分は何をしたら役に立てるのか、ということを考えて貰うことが根底にあると思っている。

米俵マラソンの定着は

問　米俵から国技の相撲、土俵俵（どひょうだわら）へと繋がった。観光と産業や町の活性化へ発展する、絶好のチャンスと捉えるべきだが。

町長　大きなチャンスだと思っている。しかし、大事なのは長く続くことだ。20年30年のつもりで取り組むのがいい。町も一生懸命、地道にしっかり支えていきたいと思っている。

〔以上４件質問〕

滝本 登喜子

町の高齢化

高齢者活躍の取り組みを

地域力・労働力として期待

町長

問　耕作放棄地が増えている。高齢化により手入れが行き届かない現状である。取り組みは。

町長　大切な農地なので、まず再利用することを目指す。農地の維持管理は、良好な生活環境の維持と考え対応する。

産業振興課長　耕作放棄地は６ha。再生可能な荒廃地は担い手法人で受けているが、農地を預ける人が急激に増加している。

　農地として守っていくエリア・それ以外での利用を検討するエリアに分けていく必要がある。対策の１つとして、農地付き住宅のモデルを募集している。

問　農業従事者の年齢が高くなり、規模の縮小や止めたい理由となっている。後継者を増やし若者が取り組める対策は。

町長　農業を取り巻く厳しい環境の中、生産・販売に打ち勝つ経営体でなければ持続可能な経営は難しい。

　しかし、ＡＩやＩＴを利用すれば伸びしろのある産業であると考える。農業の魅力を理解してもらい、取り組みたい。

産業振興課長　国から青年就労に関する交付金があり、対象者は８名いる。経験のない若者が農業に従事できるよう、農業法人で経験を積む取り組みを行っている。

問　商工業者は、後継者がいないことや廃業などで少なくなっている。行政の支援は。

町長　工業系の事業継承は比較的できているが、小売・飲食・建設業では後継者が喫緊の課題だ。町では商工業者後継者支援補助金を創設し、現在11件の申請があった。

問　高齢者の担い手・活躍の場をどう考えるか。

町長　人口減少時代にあって重要な地域力と労働力である。ボランティアセンターへの登録と町内事業所への紹介を行うなど、高齢者の活躍の場を確保したい。

問　高齢者や要配慮者は防災訓練の参加が少ない。防災学習や訓練が必要では。

総務課長　年に１度、要配慮者助け合い台帳・住民支え合いマップの更新を自主防災会に依頼している。この訓練などはこれまでほとんど実施されていないので、次年度以降検討し働きかけを行いたい。

問　子ども広場の参加者は増えているが、サポーターは高齢化し、子どもたちの対応に苦慮している。人材支援をどう考えるか。

教育長　地域の中で子供を育てる活動として運営されている。子供は地域の人と触れ合いさまざまな経験をし、大人は生涯現役として活躍している。募集してもなかなか集まらないが、今後は町広報誌・ＨＰなどでの募集も検討し人材確保に努める。

〔以上１件質問〕

社協で活躍するボランティア

飯島駅の発券

委託事業の一区切りを検討を進めたい　町長

中村 明美

問　平成25年度から、町が８時～17時まで駅員を配置し、乗車券類を販売している。この事業費は年389万円で、中川村負担金30万円余、販売手数料48万円余、実質町負担額が310万円余。

　開始から5年が経ち、駅前には「まちの駅」が開設され、また駅前広場にも防犯カメラが設置されたことで、駅周辺は当初と比べ安全な環境になった。

　この状況から見直し時期と考える。事業を一区切りし、財源310万円余を他に有効活用していくべきでは。

町長　効果の検証・検討を開始する時期と考える。今後、定期券購入の課題など関係機関との検討を進めたい。

安心な駅前に!

新電力でコスト削減を

問　次年度は、小中学校にエアコン設置が計画されており、電気料金増加が見込まれる。全公共施設に新電力導入でコスト削減を図り、住民生活に活かすよう求めるが。

町長　文化館などに導入した実績から、新電力のメリットを実感している。

　今後の計画では、役場庁舎をはじめ小中学校・保育園など10施設に新電力への切りかえ準備を進めている。余剰財源が見込まれるので、提案事業をはじめ住民サービスの必要経費に活用したい。

「持続可能な目標（SDGs）」の教育推進を

問　SDGｓ推進活動は、企業・民間・教育現場で取り組まれている。町も若い世代をはじめ広く学ぶ場を設け、町民のSDGｓへの意識啓発に努めるべきでは。

町長　ＳＤＧｓへの認識は必要と思う。そして、それを我が生活・我が政治・我が社会に振り返って、町民自身の位置を判断いただきたい。町は機会をつくりＳＤＧｓ理解に努めたい。

いつやる!元気（健康）ポイント制度

問　三度目の質問になる。町民が健康意識を高めることは、人生百年時代の現在、町が重視すべき課題の一つ。次代を担う若い世代にも健康意識の啓発が重要。そのことで医療費の抑制にもつながる。

　健康管理のきっかけづくりと、健康で活躍する人々へ感謝の思いを形にする、仮称「元気ポイント制度」を次年度実施できるか。

町長　健康維持活動は、保険料軽減につながり有意義である。広域的な取り組みも考えたい。

健康福祉課長　ポイント制度は励みになり、すごく大事。人が生きていく上での楽しみでもあり良いこと。調査・検討に時間をかけて、いい形のものをつくりたい。

〔以上４件質問〕

竹沢 秀幸

町長就任3年間

総括と課題は

種をまき、形にするのはこれから

町長

問　町長就任３年間の総括と課題は。

町長　就任以来、前町政の流れを継承することを念頭に置いてきた。

　新たに町営業部をつくり、地域創造課や観光戦略会議も立ち上げた。種をまき、形にするのはこれからで、将来を見据え町の存在感を示していく。

　町の産業・生活基盤を構築し、買い物弱者対策ではスーパー誘致に取り組む。

　リニア新駅に向け、国道バイパスの延伸にもリーダーシップを発揮する。

飯島町営業部

新課：地域創造課

小中学校夏休み延長の対応

問　県教育委員会は去る11月16日、夏休み期間延長方針を固めた。町教育委員会はどう受けとめて実施するか。

教育長　2月中には来年度の事業計画を検討するので、その中で進めていく。

赤ちゃんの下水道料金無料化を

問　下水道料金の徴収方法は、人数制である。赤ちゃんの下水道料金を無料にすると、子育て支援や定住促進にもつながる。

　合併浄化槽世帯には、補助金で赤ちゃん分を実質無料化できないか。

町長　赤ちゃんの下水道料金は、かねてより住民懇談会で値下げを求める意見がある。

　担当課に検討をするよう指示している。

人口減少に歯止めの施策を

問　町は、11月に人口9500人台を割り、12月１日現在は9484人である。１年に75人ほど減少。抑える政策が必要だが。

町長　人口対策は長期的に取り組む課題である。

　町役場の女性職員によるプロジェクトを立ち上げ「レディースファーム」など、女性に魅力的な町づくりを研究している。

〔以上４件質問〕

〈発言の取り消し〉
「人口減少歯止めの施策」の質問中、不適切な発言をし、取り消しを申し出て本会議で承認されました。

下水道安くなるといいな!

旧紅葉園 どう活用する

周辺整備で宿泊施設として　町長

折山　誠

問　自然環境を活かした観光立町と、受け入れ基盤の宿泊施設が減少している現状をどう考える。

町長　町の観光振興を図る上で、宿泊施設が少ないことは課題だ。これは、総合的な観光力が弱く、諸般の都合でやめざるを得ない宿が出ているのではと思う。

問　３年前、旅館・飲食業を営んでいた旧紅葉園を町が買収した。3800万円という税金を投じて取得した施設が活かされていないままだが。

町長　今日まで、売買や賃貸での事業者を募ったが、成約には結びつかない状況だ。今開業してビジネスをするには観光的要素が薄く、当然のことだと思う。

問　魅力ある環境が整わなければ営業する者がいない、というのは３年前の発言と矛盾しないか。

町長　旧紅葉園を観光宿泊施設・魅力ある地域資源として活用する方針は、変わっていない。

しかし、誰もが投資に躊躇している現実があり、魅力を重ねていかなければならないと思う。私の考えが揺れ動いておるわけではない。

消費税10%導入 小売店支援を

問　複雑な税制のため、レジシステムの変更に大きな投資を迫られ、廃業を含めて今後のことを検討している生鮮食料品店がある。

商工会と連携して小売店支援を。

町長　商工会を通じて、軽減税率に対応するレジ導入の補助金周知をしている。

制度導入には流動的な面もあり、国・県の状況を見ながら対応を検討したいと考えている。

千人塚　観光客はおサル?

高齢化と人口減 どうする自治力低下

問　人口の減少と高齢化で、除雪や道路・河川管理など、体力的な住民協働にもうすぐ限界が来る。

町は、現状をどう受けとめ、対応するのか。

町長　自治会・区の運営を進める上で、高齢化は大きな課題。自治会長・区長会で自治組織の改革、町と自治会・区のかかわり合いの見直しを、みんなで検討する時が来た。

問　議会町民懇談会では、各自治会の自治力が落ちていく現実を理解し、対策してほしいという意見が多数出された。

自治会費の負担・急傾斜地の危険な草刈りなど、個別の早急な対応を求めるが。

町長　自治会の負担の軽減をどのような形で行うかが大きな課題。共に考えて、できるところから手をつけていきたいと思っている。

〔以上３件質問〕

坂本 紀子

学校教育

過密教育にならないか

何が身につき出来るかを大切にした教育に

教育長

問　要・準要保護が増えている。内容と原因は。

教育長　平成22年は34人で1人親家庭である。平成29年の77人は、１人親家庭と経済的困窮世帯である（外国人家庭も数件）。困窮の理由はわからないが、制度周知を進めた結果増えたものと思われる。

問　どう対応し改善したか。

教育長　国の上限額まで実費で支給。学用品・通学費や修学旅行・医療・給食・活動費などである。今年から入学前の支給も始まり、保護者の負担軽減に役立っている。

問　保護者からの相談数が増えている。内容は不登校・学校生活だが、対応は出来ているか。子供からの相談もあるか。

教育長　集団生活に馴染めず連続欠席する子供がいる。家庭訪問や相談室・中間教室・放課後の登校も進めている。

　支援委員会を作り対応しており、卒業後も必要な家庭には支援を継続している。

　子供からの相談は友達・先生・進路の悩みが多い。保護者や関係機関と迅速に連携し対応している。

問　不登校の人数は。脱ゆとり教育による過密授業の影響か。

教育長　年間で欠席が30日を超えると不登校となる。小中学校で12～13人おり、改善の必要がある。原因はわからない。

教師への対応

問　国は小学生から英語教育を始めたが、時間の確保に苦慮していると聞いた。今後は。

教育長　平成32年から小学校５・６年生は週２時間、３・４年生は週１時間学習する。水曜日を１時間延ばすなど、検討している。５・６年生はALTが、３・４年生は支援員が担任と協力し教えている。うまくいっている。

問　土曜日半日を授業にし、平日にゆとりを持たせては。

教育長　生徒は運動会・参観日・卒業式など、先生はその他研修や研究会などがあり、また働き方改革を進めているので難しい。

教育の長期ビジョンを問う

問　この10年を振り返っての感想は。

教育長　発達障害などのある子どもへの支援が進み、多様性・平等性が保たれるようになった。

　また、グループ学習・人前での意見発表が上手になった。

　教職員の法令順守や説明責任も強化されてきた。

問　少子化で飯小の１クラス化が予想されるが、飯島らしい教育をみんなで考えることを提案する。

教育長　コミュニティスクール活動で、地域と繋がっていることが飯島らしさだ。脱ゆとりの中で新たな時間の確保は難しい。

　ICTは財政措置が必要で、町・教育委員会・先生と話し合いながら進める。七久保小が素晴らしい教育実践をしているので、飯小が１クラスになっても大丈夫だ。しかし、複式学級の可能性は議論しなければならない。

〔以上３件質問〕

ある日の授業風景

基金積立

貯め込みすぎでは 基金ごとの目標がある 町長

浜田 稔

問 この３年間の決算では基金積立額の増加が目立つが。

町長 町全体で、100億円の借金を返し続けながら行政を運営している。これだけ基金があると安心感がある。

問 それなら減債基金や財政調整基金のように、柔軟に使える基金に積み立てるべきだ。しかし特定目的別基金が増えている。

目標額と使途は何か。

町長 公共施設整備基金は修繕の10年計画があり、現在の４億6000万円に対して、目標は10億円。高度情報化基金は役場の情報システム更新とCEKの施設整備のためで、現在の7000万円に対して、目標は１億2000万円。

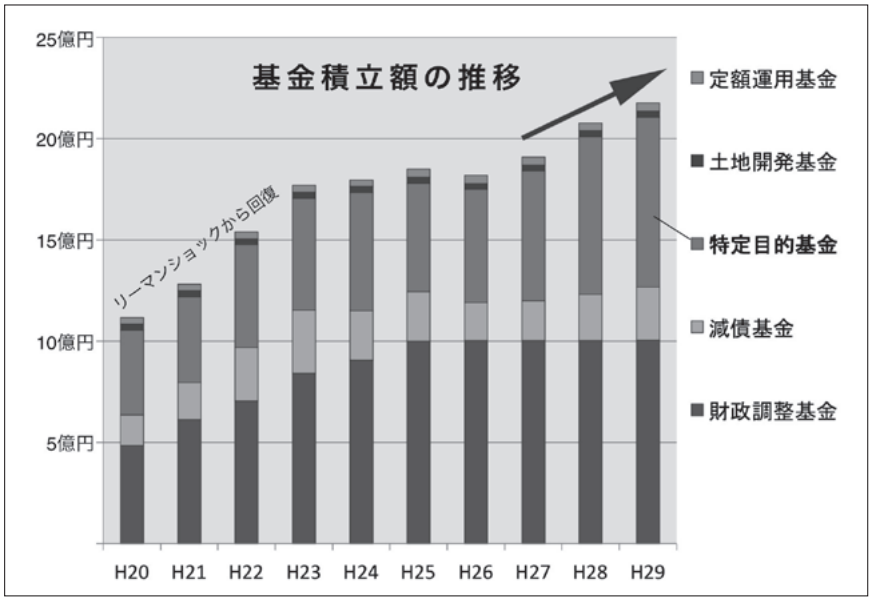
問 高齢化・買い物難民・除雪・除草対策などの行政需要を先送りにしての貯め込みではないか。

町長 しっかりお金を使うべき部分に有効に使いたい。やりくりしながら財政運営を行っていて、決してゆとりがあって無駄に貯めているわけでは無い。

どう判断 先端分野の設備導入

問 町施設の中で適切とは思えない投資が目につく。一例は防犯灯の全町LED化で、JIS規格も無い時代に実施した。事業が半年遅れている間に値下がりし、予算600万円が残る結果になったが。

町長 市場経済は無駄の多い社会だが、その中で技術革新も進む。国や自治体もその流れの中で事業を実施してきた。最善の判断をしても、またたく間に陳腐化する例はあるかと思う。



なぜ今使わない?

問 大きな投資にはマーケット調査情報*を購入すべきだ。調査不足による無駄に比べれば安いと思う。また、他町村との横並びは止めるべきだが。

町長 専門知識を持って独自判断すべきと考えている。また、その時に必要な機能は何かをしっかり絞り込んで、慎重に投資したい。

＊例えば、LEDの価格動向や市場規模などの有料調査情報

庁内の ハラスメント対策は

問 日本はハラスメント対策が遅れており、国連の勧告を受けて法整備の動きが始まった。

対応は。

副町長 セクハラには対策委員会や相談窓口を設ける規程を作った。人材育成基本方針でも項目にある。国の法整備に合わせて規程の見直しを進めたい。

問 庁内の実態は。

副町長 ストレスチェックや面談では、特に強いハラスメントは報告されていない。

〔以上３件質問〕

三浦 寿美子

介護療養病床

大幅削減で不安だが！

支える仕組み検討　町長

問　平成26年6月に「医療介護総合確保推進法」が施行され、病床機能が4つに再編された。

慢性期の患者が入院する介護療養病床は、介護保険制度の事業となった。収益が少なく病院にとって負担が重い。

国は廃止の方針で、減っていく状況をどのようにみているか。

町長　介護療養病床の廃止は、他施設への転換が進まず、平成35年度末までとなっている。

現在、県の地域保健医療構想で、上伊那圏域内の療養病床の転換・廃止に向かっている。

今後、病床数の減少で退院を求められるなどの影響が出ると予測している。

問　最近、上伊那で介護療養病床をもつ病院が縮小改築した。

結果、78床から30床に減少した。介護と医療処置の必要な患者が入院する病床である。

在宅を選択する以外に方法が無くなる。

この影響をどうみているか。

町長　上伊那では、介護老人保健施設や介護医療院などへの転換が進んでいない。受け皿となる仕組みづくりを、県や広域に働きかける。

町でも、在宅診療医の安定的な確保をし、医療・介護の多職種連携で支える仕組みを検討したい。

問　「小規模多機能型居宅介護事業所」に、訪問看護が加わることで「看護小規模多機能型居宅介護事業所」になる。

利用者にとっても魅力ある制度だ。

伊那市・箕輪町では、平成32年４月開設を目指し、設置を始める。

町内の事業所でも、看護付きへの転換は可能か。

健康福祉課長　今期の計画の中には入っていない。小規模からの転換については、不確かなので改めて回答する。

「国保」公費負担１兆円支持を

問　全国知事会が協会けんぽ並みの保険料に引き下げるため、国に１兆円の公費負担増を求めている。町長もこれに賛同するべきではないか。

町長　協会けんぽ並みの保険税になれば、低所得者に大変なメリットがある。県・他市町村と連携しながら知事会の要請を力一杯支援していく。

「いいちゃんバス」主催者予約で

問　いいちゃんバス利用でイベントなどに参加しやすくできないか。主催者が参加者を把握し、予約することは可能か。

総務課長　現在のダイヤの中での利用であれば、主催者が取りまとめて事前に予約センターに連絡する形は可能である。

問　現在の運行時刻表は見にくく分かりづらいとの声がある。

作り直しを求めるが。

総務課長　改正のときに利用者の意見を聞き、より見やすいものになるよう努める。

〔以上３件質問〕

これから、どうなるの　〔介護療養病床〕

国民健康保険

算定基準見直しを検討していく　町長

本多　昇

問　4月から国民健康保険の財政運営主体が、市町村から県に移行した。

何が変わったか、町の国保業務はどう変わるのか。

町長　将来にわたって持続可能な制度とするため、市町村単位の被保険者個人の支えあいから、県単位の市町村間の支え合いに。

各市町村の負担能力に応じた調整可能な仕組みとなり、保険税の急激な増額を回避できるなど、財政運営の安定化を図ることができるようになった。

健康福祉課長　経営事務費にかかわる業務は、基礎データの提供事務だけとなった。

保険税率の決定・賦課徴収・資格の管理・保険給付事務は今までと同じ。

問　国保税率を県内の20市町村が引き上げ、43市町村が据え置き、14市町村は引き下げた。当町は引き上げた。理由は。

健康福祉課長　現行の保険税率では、県への納付金が不足するため。

問　町の算定基準は、所得割・資産割・均等割・平等割の４方式。市町村標準保険料率は、3方式で資産割はない。

固定資産税額に賦課する資産割は、収入のない被保険者も保険料を支払わなくてはならない。資産割は除くべきだ。

保険料を維持するため所得割の料率は上がるが、低所得者には有利になる。

算定基準を３方式に変更し、所得割の税率をおさえ、不足分は1億9800万円の基金を活用すべきだが。

町長　基金の取崩しも含め検討していく。

健康福祉課長　３方式に向けて検討していく。

国保特別会計

問　県に財政運営を移行したことによって、共同事業拠出金など4つの管理項目が減少した。

会計管理は楽になったのか。

健康福祉課長　社会保障制度の改正などにより、大変複雑な会計管理となっていた。

町の行う事務は軽減した。

問　財政運営を移行し、健全な運営を行っている国保については、多額の予備費は必要ない。

現在の予備費からみて、一般会計からの繰入金を減少させることは可能だが。

町長　多額な予備費を持たない会計運営を行うべきであると思っている。

問　国保会計は前年度の繰越金によって、実質収支が黒字になっている。

この決算収支状況を把握しているか。

町長　毎年把握している。年度末支払いの不測の事態に備えるための財源確保であったが、経営主体が県になり、翌々年度以降は全く違う会計運営になる。

〔以上２件質問〕

財政運営　町から県へ（長野県ホームページ参照）

町民の声を議会へ

このページは町民の皆様に取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。
「あんどん市」25年目で惜しまれつつ最終回となってしまいました。今回は、その実行委員長小林哲雄さんに登場していただきます。

「あんどん市」最終回

『開門』の合図で空には花火が打ちあがり『待ってました！』とばかりに代官行列が掛け声とともに練り始め、小さなお子さんを乗せた駕籠は左右に揺られて行く。

市場には、様々な商品・食料などを売る露店の皆さんの元気な掛け声『いらっしゃいませ～』舞台前では、太鼓や篠笛の音が鳴る、トントコトン！

お待たせしました「あんどん一座」による時代劇・音楽パフォーマンスは圧巻。夜になると俳句会や中学校の生徒の皆さんによる俳画や俳句の書かれた大中小の“あんどん”に火がともり幻想的な姿を映し出す。

誰もが一度は来ただろう・見ただろう「あんどん市」は、信州初の県庁があった飯島陣屋を活かし、飯島ならではのお祭りをと考え、江戸風の街並みを再現。

“市”を充実し、来ていただいたお客様を飽きさせないように大道演芸を披露し、冬のお祭りとして始めました。

時がたち夏のお祭りへと変わり、町内外の皆様に楽しんでいただくために努力を重ねてきました。

今年は台風の影響で延期となりましたが、10月に開催することができ、幸い飯島陣屋150年の年でもあり、阿部県知事をお迎えし、当時の「知県事」役として参加をして下さり、大変盛り上がった「あんどん市」を開催することができました。

しかしながら、実行委員の体力の限界・モチベーションの低下・資金不足などで、今回を持ちまして最終回とさせていただく判断としました。

感　謝

町をはじめ関わっていただいた皆様・毎年楽しみに来ていただいていたお客様・すべての皆様に感謝を伝えると共に、委員長として５年間お世話になりました。

町と議会へお願い

「あんどん市」は終わりましたが、いま新しいお祭りを考えている皆さんがいます。ぜひ協力をし、飯島の新しいお祭りのために知恵をお借りしたいと思います。

議会だより クイズ

飯小150年記念品の材は?
〇〇の木（木の種類）

ヒントは8ページに

正解者５名様にいいちゃん商品券進呈
（締切は2/28、発表は発送をもってかえさせていただきます）

応募要項　住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ**ハガキ・FAX・いいちゃんポスト**で、**飯島町議会事務局　議会だよりクイズ係宛**まで

編集後記

今回は、文字サイズを変えて、行間を広げました。
お気づきでしょうか？？

発行責任者　議長　堀内克美
編集委員　◎橋場　〇折山
滝本・好村・浜田・坂本

あなたの声を議会だよりに ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 e-mail iijima-gikai@cek.ne.jp

いいじまま町議会だより　第84号　発行・飯島町議会　〒399－3797 長野県上伊那郡飯島町飯島2537番地　編集・議会広報委員会　印刷・㈱宮澤印刷